

校長室だより

国立市立国立第七小学校長 森田弘文
平成26年12月11日 NO.30

『国立七小愛唱歌』の完成・お披露目

12月8日（月）の全校朝会で、『国立七小愛唱歌』を全児童で歌いました。ご存知のように、本校には著名な詩人である谷川俊太郎氏作詞、ご子息の谷川賢作氏作曲のとても立派な『校歌』があります。「愛にあふれたやさしい気持ちで」歌いましょうとの注釈も記されているように、初めて耳にした時には、その広がりのある伸びやかな詩と、格調高い旋律に感動したことをよく覚えております。

『校歌』は、儀式的行事で必ず歌われておりますが、それとは別に、児童にとって生まれ育った地域に誇りをもって欲しいという願いを込め、「谷保」や「富士見台」の地名を入れ、歌が作れないかと考えてみました。鎮守の森として1100余年、連綿とした歴史の有する地であることや、太古の昔より、蕩々と流れる多摩川により形成された台地の景観が偲ばれる事などを念頭に置き、作詞してみました。

また、本校学校教育目標である「かしこく・やさしく・げんきよく」の文言を用い、子ども達が常に目標を意識できるようにとの思いも含め、『愛唱歌』という形で作成してみました。曲は音楽専科の大平丈郎先生が付けて下さいました。今後、始業式や終業式、運動会などで、『校歌』と合わせて歌っていきたいと考えております。



12月8日全校朝会より

国立七小愛唱歌

平成26年10月20日
詞 森田弘文
曲 大平丈郎

あさひをうけて
あまのついでに
あまのついでに
あまのついでに

あまのついでに
あまのついでに
あまのついでに
あまのついでに

あまのついでに
あまのついでに
あまのついでに
あまのついでに

あまのついでに
あまのついでに
あまのついでに
あまのついでに

一	朝日を受けて	照り映える
	天神の杜	谷保の地に
	かしこく学び	友たちと
	国立七小	光あれ
二	悠久流る	多摩川の
	広がり豊か	富士見台
	心やさしく	げんきよく
	国立七小	伸びゆかん